

# 緑のまち



発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740

URL <http://www6.ocn.ne.jp/~zhryk/>



環境緑化協会の大きなイベントである桜のお祭「スプリングフェスタひの」は今年第5回を迎えました。

当初は1日だけのお祭でしたが平成17年からは土曜、日曜の2日間実施することになりました。回を重ねるごとに夜間の提灯点灯やカラオケ大会、メインの催し物を2つにするなど、少しずつですが市民の皆様により賑やかに楽しんでいただけるお祭になるよう努力しています。

緑化協会では、緑化推進に関する講習会や展示会等、年間を通じて活動しています。

## 平成19年度 事業計画・収支予算

### 1. 緑化推進に関する啓発普及事業

- 「スプリングフェスタひの」の開催（4月上旬）  
市民参画のイベントとして、実行委員会と共催で行います。
- 春の緑化月間（4月～5月）
  - ①山野草盆栽水石展（4月中旬）……趣味の山野草・盆栽・水石を展示します。
  - ②自然観察会（4月中旬）……日野の懐かしい原風景を農家の方々の協力で再現し、観察します。
  - ③緑のリサイクル（4月下旬）……市民から提供された植物を市民に配布します。
- ガーデニングコンテスト（6月上旬）  
各家庭のガーデニングの発表の場とし、コンテストや写真展を行います。
- コスモスアベニュー事業（6月～11月）  
コスモスの種まきから収穫、秋には菜の花の種まきまで、市民参画のイベントを行います。
- 子ども昆虫教室（7月中旬）  
専門の先生を招き、市内の雑木林で昆虫採集や自然観察等を行う小学生対象のイベントです。
- 会報「緑のまち」発行（11月）  
啓発事業の一環とし、会報「緑のまち」第33号を作成し、市内全域に新聞折込します。
- 秋の緑化月間（10月～11月）
  - ①菊花コンテスト（10月下旬～11月上旬）……協会で配布したポットマム・スプレー菊等のコンテストを行います。
  - ②菊花展（10月下旬～11月上旬）……日野市・日野市菊友会と共催で、菊の展示を行います。
  - ③緑の写真展（12月）……一般から募集した緑に関する写真をテーマ毎に展示します。
- 作文集「緑のまち」発行（12月）  
市内の小学校4・5・6年生から募集した作文やカットの中から、市内小学校7人の先生方に選考して頂き、作文集として発行します。
- 緑の募金（年間）  
日野市と共催で、4・5月を推進期間として募金活動を行います。
- 緑化講習会の開催（年間）
  - ①「家庭果樹の健康管理」（5月下旬）
  - ②「庭木の手入れ」（10月上旬）
  - ③「稲わら・竹細工」（12月上旬）
  - ④「正月の寄せ植え」（12月中旬）
  - ⑤「春の草花管理」（2月中旬）
  - ⑥「ガーデニング」（3月下旬）
- 雑木林ボランティア講座（年10回）  
雑木林を保全するために、手入れの仕方や歴史等5月の第1回目から3月までの1年間で色々なことを学びます。

### 2. 緑化推進に関する事業活動

- 菊花栽培事業（年間）
  - ①講習会の開催……「菊のさし芽」「大菊の育て方」「ポットマム・スプレー菊の育て方」の講習会を開催します。
  - ②カサ菊の配布（6月下旬）……市内小・中学校、幼稚園、保育園に苗を配布します。
  - ③ポットマム・スプレー菊の配布（8月中旬～9月上旬）……市民や小中学校、幼稚園、保育園、老人クラブに配布します。
  - ④貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布（9月）……現在は日野市だけが継承している貴重品種を栽培し、公共施設に配布します。
- 花の交流広場（年間）  
市民の皆様から提供していただいた花の種を希望者に配布します。
- 公園・公共施設への花卉植付け（年間）  
市内の公園や公共施設に年3回～4回、四季折々の花を植付けます。

### 3. 緑化推進に関する調査・研究

花の栽培や花壇管理等についての調査・研究を行います。（年間）

### 4. 受託事業

- 公園清掃及び管理事業（年間）  
日野市から委託された市内121公園の清掃及び管理を、愛護会やボランティアの方々の協力を得て行います。
- まちなみ等安全緑化事業  
公園等を外から見た安全対策事業を、日野市から委託を受けて行います。

## 《収支予算一覧表》

収入の部		支出の部	
科目	予算額(円)	科目	予算額(円)
基本財産運用収入	600,000	普及啓発費	2,642,000
事業収入	699,000	事業活動費	15,256,000
補助金等収入	46,800,000	調査研究費	30,000
寄附金収入	1,141,000	受託事業費	16,900,000
雑収入	2,000	管理費	15,304,000
前期繰越収支差額	1,000,000	予備費	110,000
収入合計	50,242,000	支出合計	50,242,000

各事業の詳細については、緑化協会にお尋ね下さい。

## 平成18年度 事業報告・収支決算

### 1. 緑化推進に関する啓発普及事業

- ひの春を楽しむ会（4月）
  - ①第4回スプリングフェスタひの開催（5,500名来場） ②第6回さくらの集い開催（800名来場）
- 春の緑化月間（4月～5月）
  - ①山野草盆栽水石展（176点展示/384名来場） ②自然観察会（23名参加） ③緑のリサイクル（1,180点提供/120名来場） ④第2回ガーデニングコンテスト
- コスモスアベニュー事業（春-304名/秋-374名 参加） ● 子ども昆虫教室（21名参加）
- 会報「緑のまち」第32号発行
- 秋の緑化月間
  - ①菊花展・菊花コンテスト（一般市民の部70名/団体の部21団体 参加） ②緑の写真展（22名参加/49点展示）
- 作文集「緑のまち」発行 ● 萌芽更新作業体験 ● 緑の募金 ● 緑化講習会（全7回/162名参加）
- 花とみどりの健康相談 ● 雑木林ボランティア養成基礎講座（受講生25名）

### 2. 緑化推進に関する事業活動

- 菊花栽培事業
  - ①菊講習会（3回/97名参加） ②カサ菊の配布（2,548本） ③ポットマム・スプレー菊の配布（15,494本）
  - ④貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布 ⑤親株の管理 ⑥日野市表彰式用の菊栽培（500鉢）
- 花の交流広場の実施（提供11名/配布118名） ● 公園・公共施設等の花卉植付け（63,201本）
- 腐葉土・肥料の販売 ● レンゲ畑の再現事業

### 3. 緑化推進に関する調査研究

- 壁面緑化 ● 公園の落ち葉を利用した地域での堆肥作り ● 安全緑地、雑木林の管理

### 4. 受託事業

- 公園清掃及び管理事業（愛護会68ヶ所/直営53ヶ所 合計121公園） ● まちなみ等安全緑化事業（狛谷戸公園）

## 《収支決算一覧表》

収入の部		支出の部	
科目	決算額(円)	科目	決算額(円)
基本財産運用収入	778,958円	普及啓発費	2,540,489円
事業収入	1,183,170円	事業活動費	14,752,009円
補助金等収入	44,824,621円	調査研究費	26,431円
寄附金収入	1,287,327円	受託事業費	16,892,445円
雑収入	8,988円	管理費	13,336,397円
前期繰越	4,422,502円	予備費	0円
収入合計	52,505,566円	支出合計	47,547,771円
		次期繰越	4,957,795円

# 春の緑化月間トピックス

## 自然観察会

日野の原風景を再現した南平のレンゲ畑を訪ねました。



朝10時に中央公園集合。27名の参加者は、日野の自然を守る会の指導員の方の解説を受けながら、植物などを観察し、1時間以上かけて南平のレンゲ畑まで散策しました。現地では、地元で農家を営む田中さんの説明や写真撮影など、自然の中で楽しいひとときを過ごしました。



## 山野草盆栽水石展

今年も日野市盆栽水石連盟と川北園芸趣味の会の皆様の協力で、市役所101会議室を会場に167点を展示しました。3日間の期間中、延べ325人もの市民が会場を訪れました。



期間中、日野市盆栽水石連盟と川北園芸趣味の会の皆様が交代で熱心な市民の方（見学者）の質問にお答えしました。

## 緑のリサイクル

毎年行われる「緑のリサイクル」は、ご家庭で増えすぎたり不要になった植物を必要な方に育ててもらいます。



今年は44名の方にご提供いただき、166種1,193点の植物が集まりました。4月28日「緑のリサイクル」当日には延べ210名の方が来場され、それぞれ好みの植物をお持ち帰りになりました。

注：不要になった植物をお預かりできる期間は限られていますので、ご注意ください。詳しくは緑化協会まで。

# 第3回 ガーデニング コンテスト

賞	受賞者
日野市長賞	河村 恵吉
日野市議会議長賞	嶋崎 康江
(財)日野市環境緑化協会理事長賞	岡田 宏子
手作りエクステリア賞	小野澤 光雄
ボタンガーデン賞	宮山 幸治
おとぎの国で賞	深谷 満里子
マンションテラスガーデン賞	能田 秀子
道沿いガーデン賞	宇井 資子
道沿いガーデン賞	長尾 格子
ローズガーデン賞	瀬尾 教子
夫婦手作り賞	土方 義一
コミュニティーガーデン賞	東京光の家
コミュニティーガーデン賞	第四中学校 ガーデニングサークル

今年もたくさんの応募をいただき、ガーデニングコンテストを開催しました。受賞者は左表のとおりです。

6月3日（日）日野市民ふれあい福祉まつりで表彰式を行い、翌6月4日～14日まで日野市役所1階で写真展を行いました。



# ● ● ● ● ● 秋の緑化月間 ● ● ● ● ●

## 菊花展

### ● 配布苗菊花コンテスト ●

期間：平成19年10月27日(土)～11月7日(水)

夏にお配りした苗を丹精込めて育てあげ、  
たくさんの方に応募いただきました。

応募総数－市民一般の部 64名 104鉢  
老人クラブの部 9団体 108鉢  
小学校の部 9校 90鉢



(平成19年度の入賞者は以下のとおりです)

	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	p・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	船木ます子	須崎 米子		久和の美会	悠悠クラブ	第二小学校
日野市議会議長賞	滝瀬美佐雄	天野 正次		川北クラブ	久和の美会	第三小学校
日野市教育委員会委員長賞						平山小学校
財団法人日野市環境緑化協会理事長賞	富沢 栄子	船木ます子	富沢 栄子	悠悠クラブ		東光寺小学校
日野市老人クラブ連合会長賞				平山なづな会		
日野市菊友会会長賞	佐々木キヌ	須崎 久雄				
東京南農業協同組合組合長賞	天野 正次	滝瀬みち子		程久保長生会		
入選(市長)	佐伯 茂子	滝瀬美佐雄		中部長生会	川北クラブ	旭が丘小学校
	佐々木昭雄	佐伯 茂子				
入選(理事長)	平 力男	杉本 和子	須崎 久雄	四谷永寿会		仲田小学校
	平出 静江					

### ● 古典菊・大菊の展示 ●

大菊や古典菊(肥後菊・嵯峨菊・江戸菊)など、約200点を展示しました。

### ● 日野市菊友会菊花展 ●

福助・盆養・切り花など、約150点を展示しました。



### ● 表彰式 ●

平成19年11月7日(水)  
午後2時～

晴天のなか、市民プラザで盛大に表彰式が行われました。



## 緑の写真展

来る 12月10日(月)～12月13日(木)

於：市役所1階市民ホール

テーマ① 「日野の四季」

テーマ② 「わが家の緑」

今年もたくさんの応募作品が展示されます。  
是非、ご覧下さい。

昨年の写真展の様様



# 小学生からの提案

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に二、七、一四名の児童から応募がありました。学年別では四年生・七四三名、五年生・一、〇二二名、六年生・九五九名でした。この中から、入選作二二七編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三作品と、審査をいただきました審査委員長の講評を掲載します。

なお、入選作品については、別に作文集として発行します。

## わが家の夏の行事

平山小学校

四年一組 金子 諒 輔

ぼくの家では、六月中頃になるとお父さんがそわそわし始めます。つづいてお母さん、そしてぼくたちも気になり始めることがあります。それはホタルのことです。ホタルを見に行くことで夏が始まります。

ところが六月中頃、その明かりが消えていることに気づきました。「どうして明かりがつかないのかなあ。」と言ったら、お父さんが、調べてくれました。すると、ホタルがたまごをうむ時期には、明かりを消してほしいという、ホタルを守る人たちの願いから、多摩テックでは観らん車の明かりを毎年六月中頃からしばらくの間、消しているということでした。それがきっかけで、この辺にもホタルが出るのが分かり、わが家のホタル探しが始

まりました。

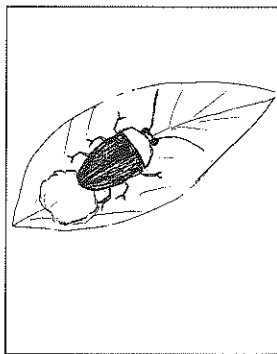
ぼくの家近くの平山小学校のうらの里山によく出ました。そこには、きれいな水の小川が流れていて、ホタルのえさになるカワニナがいるからです。カワニナは、きれいな水にしかいません。それから毎日夜八時頃になると、ぼくたちは里山にホタルを見に行きました。

しかし、その数年後に、山をくずして木を切ってしまったから、ホタルが出なくなりました。工事で川がよごれて、カワニナが住めなくなつたからだろうと思いましたが、里山には、ホタル以外にメダカや、ホトケドジョウなどがいて、ぼくはそういう生き物を見つけるのが楽しみだったので、とても残念でした。

でも、今年ホタルが出る新しい場所を発見しました。ほりの内トンネルのすぐそばです。やはり、きれいな川が流れていて木がたくさんおいしげっている所でした。お父さんが最初に見つけて、うれしそうにぼくたちに教えてくれました。さっそく暗くなるの

を待って行ってみると、たくさんのお父さんがポーツ、ポーツと飛んでいました。ぼくはびっくりしました。近くにとまっているホタルに手を近づけると、手にとまりました。手のひらで光るホタルを見て、なまてきれいなんだろうと思いました。

七月の始めまで、わが家のホタル見物はつづきました。来年もさ来年も、そしていつまでもホタルが見られるように、このきれいな小川と緑と自然を守っていかねければならないなあと思いました。



## ぼくが漁師になる 夏休み

日野第八小学校

五年三組 沢 田 航

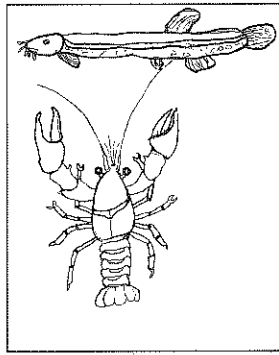
ぼくの家近くに水路があります。田んぼもたくさんあ

て、稲に青い穂がで始めました。水路には、季節ごとにいろいろな生き物がやってきます。春、最初に見つかるのは、アメンボとおたまじゃくしです。かるがもやシロサギもやっています。水かさが増えるとき、びっくりするような大きなコイの群れが、バシヤバシヤと音を立ててのぼってくる時もあります。コイたちは、まるでかけっこをしているように、すこいはやさで泳いでいきます。夏休みになると、ぼくは漁師にもなった気分です。ザリガニ、小さなはや、どじょう、こぶなどをとって遊びます。スルメをえさにしてザリガニ釣りをすると、べに色をした親分みたいなザリガニがとれます。しかし、大きな強いはさみでスルメをとられてしまえば、ぼくの目の前で勝ちほこつたように食べられて、くやし

い思いをする事もあります。この夏の一番の好物は、体長十五センチ位のオイカワ（ヤマベ）でした。オイカワの体は、赤と青と緑のじょうやな美しいもよう、長いひれを持っていきます。とてもすばしこく、あみですくった時は

とてもうれしかったです。ぼくが家へ帰る時、「また、つかまえてやるぞ。」「元気に仲間の所に帰れよ。」と心の中で言いながら、とった魚は水路へ逃がしてやりました。

水路はいつもぼくをわくわくさせてくれます。いつまでもたくさん生き物が住めるように、みんなで水を汚さない努力をする事が大切だと思います。



## 水辺の蛍

日野第一小学校

六年一組 松谷 優里果

私の通学路は、用水路が続いています。

日野は多摩川、浅川を中心に川や水路があみ目のように流れています。

私は、時どき母と買い物物の帰りに「向島用水」の遊歩道を歩きます。今年は、猛暑が続いたので木かげで母と涼みながら、水の中にいる魚やザリガニなどを見ていると、暑くていらいらする心が休まります。この場所以外にも日野には沢山の美しい水辺があります。

私はこの夏、友達のお父さんから「蛍が出たよ。」と聞きました。夜に家族と何度かその場所へ行ってみたのですが、時期が遅く見ることができませんでした。結局、自然の蛍を見るチャンスを見逃してしまいました。しかし昼行つてみるとその場所は湧水が流れ、川のせせらぎが聞こえ、水辺には緑があります。夜そこに飛び交う蛍を想像しただけでワクワクしてきました。蛍を見た近所の人は「とても光が綺麗でなつかしかった。」と言っていました。来年こそは、蛍に会いたいと思います。水辺と緑は人を優しい気持ちにしてくれます。「用水路

も土だと管理が大変でコンクリートになっている所が多い。」とかかわせみ館の先生が教えてくれました。しかし、水辺の草は産卵や生物の身を隠す場所になったり、水中の酸素を増やすなど重要な役割もしてくれず。できる限り多くの自然の水辺を残してほしいと思います。自然を守るために私達は生物と共存していくことが大切です。そのためにも生物をむやみにとったりしないこと。そして、川を汚さないことを心がけていきたいと思えます。

私は、日野の自然がいつまでも美しく、そしていつまでも沢山の蛍が住みやすいくられるようなまちであってほしいと願っています。



## 「緑のまち」作文審査を終えて

審査委員長

日野市立潤徳小学校長 宮崎 芳子

「緑のまち」の十九年度作文応募は昨年より約三〇〇名ほど増えて、七、七、四四名です。年々の増加に審査委員会としては嬉しい悲鳴を上げています。

多数の作文を読む作業は大変でしたが、楽しいものでした。子どもの感性や素直さ、たくさん感動を与えてもらえるからです。

よい作文を書くためには、表現するための学力が必要です。しかし審査を終えて、「緑のまち」の作文は学力だけでは書けないと思えました。

必要なのは、身近に豊かな緑があることです。直に自然に触れる体験をしてはじめてその大事さが実感でき、説得力ある作文が書けます。身近な自然に子どもたちの感性も磨かれるのです。

実際、私たちにより多くの感動を与えた作文は、ニュー

スで見たとや聞いたことを頭の中で考えた作文ではありませんでした。日野の水辺や林の豊かさ、そこに生きる生き物や草花のある幸せを思い、自分なりに行動する姿勢から書いた作文でした。なかには、作文を書くために今年は何をしようかと自分の行動取り組みからはじめた子どももいました。日野の豊かな緑は子どもの遊び場であり学びの場です。ぼくたちの遊び場を残したいと懸命に訴える作文もありました。

終わりに、長年、市の緑を大事にしてきた行政や市民、緑化協会、家族の方々、直接指導した先生方に心より感謝申し上げます。「緑のまち」はこうした人々のお陰で支えられています。これからも作文を通じて、緑のわが町を大事に思う、賢い子どもたちが育つことを願ってやみません。

# 憩いの場 吹上公園



吹上公園は小さな子どもからお年寄りまで多くの方が利用する憩いの公園です。

この公園は地域の吹上自治会の方達が愛護会として管理をしてくださっています。

吹上自治会の方達は公園の清掃と花壇植付け管理を通じ地域に住む人と人との交流をふかめ、地域住民のコミュニティを図ってくれています。

## 『緑の募金』結果のお知らせ

今年も例年通り4月・5月を推進月間として取り組んでまいりましたが、自治会・老人クラブ・各事業所等、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさん募金が集まりました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に使われるほか、一部は当協会にも還元され、市内公共施設や公園等の花壇への花卉植付けなどに役立たせていただきます。

● 募金総額 2,066,787円 ●

<内訳>

自治会	978,385円
老人クラブ	127,152円
市立小・中学校	22,184円
私立幼稚園・保育園	45,525円
団体・事業所	642,539円
一般・街頭募金	127,695円
市役所機関	123,307円

ありがとうございました

## 寄付

緑化協会では全国規模で行われる「緑の募金」とは別に、年間を通じて寄付の受け付けをしています。いただいた寄付金は、日野市の緑化推進のために役立っています。

〈平成19年度寄付金〉(10月末日現在)

日野自動車さくら祭実行委員会	47,119円
青木寛司	10,000円
南平七丁目自治会	5,000円

この他にも協会事務所の募金箱にたくさんのご好意が寄せられています。ありがとうございます。

## 〈緑化協会事務所で腐葉土・乾燥肥料を販売〉

- 腐葉土 公園の落葉に米ぬかを加え、切り返しをしながら約2年間蓄積し、選別したものです。
- 乾燥肥料 油粕・魚粉・米ぬかを入れ、発酵させながら切り返し、夏は約2ヶ月冬は約3ヶ月かけて作ったものです。(緩効性肥料)

どちらも菊、草花、野菜等の栽培に最適です。ぜひご利用下さい。

- \* 腐葉土(約4ℓ)…100円 \* 乾燥肥料(400g)…100円
- \* 固形肥料…20円
- \* お徳用腐葉土(約20ℓ)…400円 (約44ℓ)…800円もあります

## 編集後記

10月10日(水)、11日(木)の2日間、当協会職員他15名を2班に分けて立川市にある国営昭和記念公園へ視察に伺いました。公園内に咲いているコスモスをメインとして見学させていただきました。センセーション、シーシェル、キバナコスモス、イエローガーデンなど色とりどりのコスモスが綺麗に咲いており、名前の通り花畑、コスモスの丘でした。多くの来園者がコスモスの花をバックに写真を撮って楽しんでいました。

私も昭和記念公園には何回か遊びに行ったこともありましたが、今回の視察で園内にある、水鳥の池を調整池としてトンボの湿地、日本庭園の池などに水を循環して使用している等、来園者を楽しませてくれている裏では環境に配慮もしていることを知りました。

今回の視察で案内の方に教えていただいたコスモスをきれいに咲かせるためのノウハウを、市で行っているコスモスアベニュー事業に活かしていきたいと思いつきながら視察を終えました。

